

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第53回）議事概要

開催日及び場所	令和3年3月19日（金） 文部科学省会計課会議室及びリモートオンライン会議	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学客員教授） ○委員 大谷 益世（公認会計士） 楠 茂樹（上智大学教授） 清水 光（弁護士） 松浦 亨（北海道大学病院客員診療教授）	
審議対象期間	第3四半期（令和2年10月1日～12月31日）	
個別審査案件	8件	○議事 (1) 令和2年度第3四半期に締結した契約の概要 (2) 個別審査対象案件 (3) その他
一般競争入札方式	5件	
最低価格方式	2件	
最高価格方式	0件	
総合評価方式	3件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	3件	
企画競争	2件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	1件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	審議の過程で検討や見直しをしていただきたいと申し上げた点については適切に対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>個別審査案件について（以下、審査順）</p> <p>①「学校基本調査にかかる次期電子調査票の設計・開発業務 一式」</p> <p style="text-align: center;">【一般競争（最低価格落札方式）】 (大臣官房会計課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格と落札率の乖離についてどう分析しているか。 ・ 今回、競争参加資格の等級を広くとり、多くの参加者が入ってきたと考えられるか。 ・ 入札状況調書から各社がどれだけの工数を積算しているかなど、状況は分析して欲しい。 <p>②「令和2年度「先進的な障害者サービス等に関するシンポジウム」」</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 (総合教育局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画競争の審査員のコメントについては契約にどのように反映させているのか。 ・ 事業規模の金額の記載について、あくまで規模の把握に留まるような記載になるよう注意して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札金額については競争参加者の意思もあるが、予定価格については参考見積だけで予定価格を積算するのではなく、単価と工数をもとに積算を行っている。 ・ 今回7者の競争参加があり、よく競争が働いたと思われる。 ・ 各者の工数については参考見積書から分析をしている。それらの傾向については今後活用をしていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員のコメントは採択通知の際に伝えて、改善された内容を確認して契約締結を行っている。 ・ 承知した。

<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何と分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、感染症対策をしながら、専門的分野のシンポジウムを開催するというのは、なかなか手が挙げられなかったため再公募となった。本事業は継続の予定はないが、読書バリアフリー法ができ、国の基本計画も出来てきたので、将来的に事業を行う際には御意見を参考に実施して行きたい。
<p>③「諸外国における大学の質保証システムに関する調査研究」</p> <p style="text-align: center;">【一般競争（総合評価落札方式）】 (高等教育局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約相手方の体制等についてはどのように確認しているか。 ・一者応札となった理由は何と分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応札者に対しては提案書を提出頂き、評価委員においてその内容を確認頂いている。またこれまでの実績等も提出頂いて、そういったものも委員に内容を確認頂いている。 ・今回新型コロナウイルス感染症の影響があり、仕様書の作成に時間を要してしまった。本来であれば、公告開始もなるべく早期に実施すべきところであったと考えられるので、改善を検討して参りたい。
<p>④「指導成果の検証」</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 (スポーツ庁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度3回の公募を行ったとのことであるが、どのような調達スケジュールだったのか。 ・一者応札となった理由は何と分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元々は一回の公募を予定していたが、複数採択を予定していたところ、予算との兼ね合いで採択数の余裕があったため、再度、再々度と公募を行ったものである。 ・今回が3回目の公募となっており、事業期間の

<p>⑤「工芸品 重要文化財 太刀 銘包次」 【随意契約（競争性のない随意契約）】 （文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象品の評価について専門家による評価と共に評価に関する積み上げ計算のような根拠を徴取できないか。 評価する専門家に関しての考え方はどのようなものか <p>⑥「令和2年度「国語に関する世論調査」」 【一般競争（総合評価落札方式）】 （文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一者応札となった理由は何と分析しているのか。 今回調査方法を対面から郵送に切り替えたが、事業の目的や効果にはどのように影響を及ぼしているか。 	<p>短さが原因と思われる。できるだけ事業の周知に努め、再度の公募の際でも準備を早期に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術品の評価について積み上げという考え方があてはまるかもあるが、考え方のようなものについては検討したい。 例えば博物館関係者など、色々な経歴をもつ方々で構成するようにしている。また、対象の品目によってもそれぞれの分野の専門の方に確認頂くようにしている。 本事業については落札者が硬直化している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して調査方法を対面から郵送に切り替えたが入札参加者は増えなかった。今後は広く周知を行うことや他省庁の調査を行っている者を調べるなど、検討を行いたい。 新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、対面で実施したいと考えている。今後の情勢次第では対面方式へ戻すことなどを検討しつつ、調査法については統計の専門家や言語学の専門化にも相談しながら、都度考えて参りたいと考
---	--

⑦「理科ねっとわーく Flash コンテンツ対応業務一式」

【一般競争（最低価格落札方式）】
（国立教育政策研究所）

- ・一者応札となった理由は何と分析しているのか。
- ・今後もこのコンテンツは活用を続けていく予定か。

⑧「日本と主要国の科学的成果及び科学と技術のつながりを網羅的に分析するためのデータ更新作業（2020年分）」

【一般競争（最低価格落札方式）】
（科学技術・学術政策研究所）

- ・一者応札となった理由は何と分析しているのか。

えている。

- ・競争参加希望者からの聞き取りで、情報の不足という意見があったので、そういった競争参加者の理解度を高める点は見直して取組んでいきたい。また本コンテンツについては、研究所内で運用の継続について検討をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちのオンライン学習に資するため、コンテンツの改修をすることが急遽決定された。そういった事情もあり履行期間が短くなってしまったと考えられる。
- ・コンテンツの有効性について検討しながらになるが、やはりまだ新型コロナウイルス感染症の影響は続いているので、当面は続けながらニーズも踏まえて検討していきたい。今後契約を行う際には各現場の研究官とも情報共有し新規参入が可能となるような取組を検討していきたい。

- ・比較的専門性が高い業務について、入札参加希望者の方で専門性が自分たちに合わない判断

<ul style="list-style-type: none">・入札公告が10月以降になったのは新型コロナウイルス感染症の影響によるものか。	<p>されたことと、予算規模がそれほど大きくないこともあり、その辺りで参加を見送る判断をされたことを要因と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・時期的には第6期科学技術イノベーション計画自体の検討がある程度終わった段階から事業を始めようと意図していたものであるが、もう少し早めに実施できた余地もあり、それについては今後工夫の余地があると思われる。
---	--